稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより　　No.１２
令和　５年３月２４日
文責　校長　大坂　充

【学校の教育目標】
りこうで
たっしゃで
ほがらかな
稲穂の子

稲穂小 WEB

第７６回 卒 業 式

校長　大　坂　　充

３月１８日、第７６回卒業式が行われました。今年のテーマは「夢に向かう第一歩！　６年間の絆を輝かせ、感謝を伝えよう！」でした。今年は去年よりも一歩二歩も進め、在校生を代表して５年生が式場で参加しました。来賓もお迎えし、小樽市教育委員会の告示や PTA 会長のご祝辞もいただきました。そして何よりも、式場の児童並びに教職員はマスクをしないことを基本としたので、入退場や証書授与の時などは卒業生の表情を見ることができました。歌や呼びかけの時はマスクをつけていましたが、それでも３年ぶりに公の場所でマスクを取ることができて良かったと思います。校長式辞も全文を読み上げることができました。この場を借りて式辞の一部をご紹介します。

（前略）勉強や仕事がその人の成長に大きな役割を果たすように、サボったり、いい加減にしたこともその人を形成する上で大きな役割を果たします。還暦を迎えた今の私だから言えます。人生に無駄なことなんて一つもなかった。良い自分も、悪い自分も全部自分であり、誰のせいでもない等身大の自分が毎日の積み重ねによって作られていくのです。「ずるしても真面目にも生きていける気がしたよ」チェリーという曲にあるその歌詞が私は好きです。ずるしても真面目にも生きていけるのです。選ぶのは自分です。自分の言動くらい、自分で責任をもちなさい。誰のせいでもない自分をしっかりと持ってください。そして歌は「いつかまたこの場所で君とめぐり会いたい」と続きます。いつか、どこかで再会したとき、胸を張って堂々と会うことができるように、これからの自分の言動に責任をもって生きていってください。

最後に卒業式で私がいつも紹介する言葉を紹介します。それは

「遠くの星をめざせば たとえそこまで行けなくても 遠くへ行ける」

という言葉です。この先、みなさんは夢や目標を持ち、その実現のために頑張るでしょう。しかし、夢を実現できる人はほんの一握りしかいないのです。オリンピックで金メダルを取るのは一人だけ。それ以外の多くの選手は金メダルという夢にはたどり着けないのです。しかし、金メダルという遠くの星を目指したからこそ、銀メダルや銅メダル、いやオリンピックに出るという遠くまでたどり着くことができたのです。

「失敗した」は、「挑戦した」証拠です。「ナイスチャレンジ」です。「躓いた」は、「一歩踏み出した」証拠です。どんなに遠い道のりも、スタートは最初の一歩です。小さな一歩でもいいから踏み出してください。躓いたっていい。みなさんには、その挑戦を見守り、躓いても支えてくれるご家族や友だち、そして私たちがついています。遠くの星を目指して、一歩踏み出してください。（後略）

今年の卒業式は、定年退職を迎える私にとっても、最後の卒業式でした。それを知っている卒業生たちは、「おめでとう」と言って卒業証書を渡すと、「長い間、お疲れ様でした。」「楽しい小学校生活をありがとうございます。」など、私へのメッセージを伝えてくれました。卒業式の主役は卒業生です。しかし、主役である卒業生と同じくらい、いやそれ以上の感動を私はもらいました。

その後の式辞は平常心をもってお話しすることはできませんでした。長く校長を務めていてもこんな経験はありません。校長式辞の後、会場から拍手をいただいたのも初めてです。一生の宝物をいただきました。ありがとうございます。皆さんの未来に、幸多からんことを心よりお祈りします。

ボス川柳

北海道新聞に掲載された作品を紹介します。

雪の下　ひょっこり出てくる　ふきのとう

四年　鹿戸　公靖

（三月八日掲載）

校友会入会式

３月１５日（水）５時間目、体育館にて、６年生を対象に校友会の入会式が行われました。

はじめに、校友会長の高田　嗣久さんより、校友会入会にあたってご挨拶をいただきました。「一つでもいいから夢や目標をもつとよいでしょう。そして、スポーツでも勉強でも好きなことを一生懸命やってください。」と、後輩にエールを送られました。続いて、高田　会長より ６ 年生の代表に記念品（目録）の贈呈がありました。

次に、児童代表からお礼の言葉がありました。最後に校長挨拶でしたが、挨拶ではなく歌と写真のスライドショーのプレゼントがありました。

始業式・着任式、入学式について

４月６日（木）　８時３５分～　　着任式・始業式

１１時００分～　　入学式

※新２年生～新６年生は、普通登校（8：15～8：25）、11:25 頃の下校となります。

※新３年生と新５年生は、４月６日（木）の登校時に玄関に新しい学級の名簿を貼り出します。
自分の学級を確認の上、靴箱に靴を入れ、教室に入ってください。
他の学年の児童も靴箱の位置を確認し、新しい教室に行ってください。

※なお、今後の新型コロナウイルス感染症対策のため、入学式の内容や参加体制が変更される場合があることをご承知おきください。

※マスクについては、必要な場面があることを想定し、必ず持参するようにお願いします。

春休み中の生活について（3月25日～4月5日）

１　生活のきまりや学校から配布した「春休み中の生活について」をご家庭で今一度ご確認してください。特に融雪期の交通事故には十分注意願います。自転車、スケートボード、キックボードなどはルールを守って使いましょう。

３　インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の予防のため、手洗い・うがい・咳エチケットを継続するようにお願いします。

４　生活リズムを整えて新学期を迎えられるようにお願いします。

５　学校からの学習プリントなどに時間を決めて取り組むようにお願いします。

６　インターネット上のトラブルを未然に防止するために、ご家庭でのルール確認をお願いします。

７　新年度を迎えることに不安がある場合は、一人で悩まず学校（TEL 23-8381）や「子ども相談支援センター」（TEL 0120-3882-56）に相談してください。